

地域経済概況

No.631

2023年11月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【11月】

《景気判断》「このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している」

総括判断は、前回判断から7か月ぶりに下方修正

個別指標においては「設備投資」について前回判断から下方修正、その他の項目においては判断を据え置いた

(個人消費)	➡ 持ち直している	(設備投資)	⬇️ 持ち直しに足踏みがみられる
(輸出)	➡ このところ持ち直しの動きがみられる	(生産)	➡ 持ち直しの兆しがみられる
(企業収益)	➡ 総じてみれば改善している	(企業の業況判断)	➡ 総じてみれば緩やかに改善している
(雇用情勢)	➡ 改善の動きがみられる	(消費者物価)	➡ 上昇している

🔴…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 ⬇️…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【9月】

令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	103.6 (103.3)	+0.5	107.2 (106.9)	▲4.4
出荷 (速報値)	103.4 (103.2)	+0.6	108.0 (107.7)	▲2.3
在庫 (速報値)	103.6 (103.8)	▲1.3	102.9 (103.1)	+0.2

(経済産業省調べ)

9月の季節調整済指数（前月比）は生産および出荷において上昇、在庫において低下

生産で上昇した業種…自動車工業、汎用・業務用機械工業、化学工業（除 無機・有機化学工業）ほか7業種

生産で低下した業種…生産用機械工業、電気・情報通信機械工業、輸送機械工業（除 自動車工業）ほか3業種

製造工業生産予測調査によると、10月は前月比+3.9%の上昇、11月は同▲2.8%の低下見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【10月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	243,144	+14.9
軽自動車販売台数	154,528	+4.7

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

10月の普通自動車等販売台数は前年同月比10か月連続の増加、軽自動車販売台数は3か月連続の増加

国内新車販売台数（軽自動車を含む）は397,658台（前年同月比+10.7%）で14か月連続の増加

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【10月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
主要5品目	売上高総額	4,531	+6.1
	衣料品	1,362	+4.4
	身のまわり品	761	+12.7
	雑貨	926	+12.7
	家庭用品	149	▲0.3
	食料品	1,086	+0.2

(日本百貨店協会調べ)

10月の売上高は20か月連続の増加

顧客別では、国内市場は前年同月比+0.4%で20か月連続の増加、インバウンドは同+178.9%で19か月連続の増加

地区別では、10都市が前年同月比+9.1%で25か月連続の増加、10都市以外が同▲2.5%で4か月ぶりの減少

■スーパー等大型チェーン【10月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
部門別	総販売額	11,390	+3.3
	食料品	8,058	+5.2
	衣料品	627	▲5.9
	住関連	2,099	+3.0
	サービス	24	+2.5
	その他	580	▲8.6

(日本チェーンストア協会調べ)

総販売額は前年同月比で8か月連続の増加

食料品は節約志向は変わらず買い控えが続いているが、農産品が相場高の影響もあり好調に推移し、食料品全体では店頭価格の上昇もあり売上は好調だった

衣料品は高気温の影響から秋・冬物商品の動きが鈍かったものの、住関連の動きはまずまずだった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【9月】

	戸数(戸)	前年同月比(%)
総戸数	68,941	▲6.8
利用関係別	持家	▲12.3
	貸家	▲2.9
	分譲住宅	▲7.3
	マンション	▲2.8
	一戸建	▲10.4

(国土交通省調べ)

9月の総戸数は4か月連続の減少

前年同月比は持家は22か月連続の減少、貸家は2か月連続の減少、分譲住宅は4か月連続の減少、分譲住宅のうち、マンションは3か月連続の減少、一戸建住宅は11か月連続の減少

地域別戸数は首都圏(前年同月比▲13.8%)、中部圏(同▲0.5%)、近畿圏(同▲1.4%)、その他地域(同▲4.6%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【10月】

	受注額(百万円)	前年同月比(%)
受注総額	112,027	▲20.6
内需	33,628	▲24.5
外需	78,399	▲18.8

(日本工作機械工業会調べ)

10月の受注総額は10か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を33か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【10月】

	倒産件数	負債総額
	793件	3,080億円
前月比	+10.1%	▲55.4%
前年同月比	+33.0%	+254.0%

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は19か月連続で前年同月を上回った

負債総額は2か月連続で前年同月を上回った

新型コロナウイルス関連倒産は263件発生

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【11月】

《総括判断》 「持ち直している」

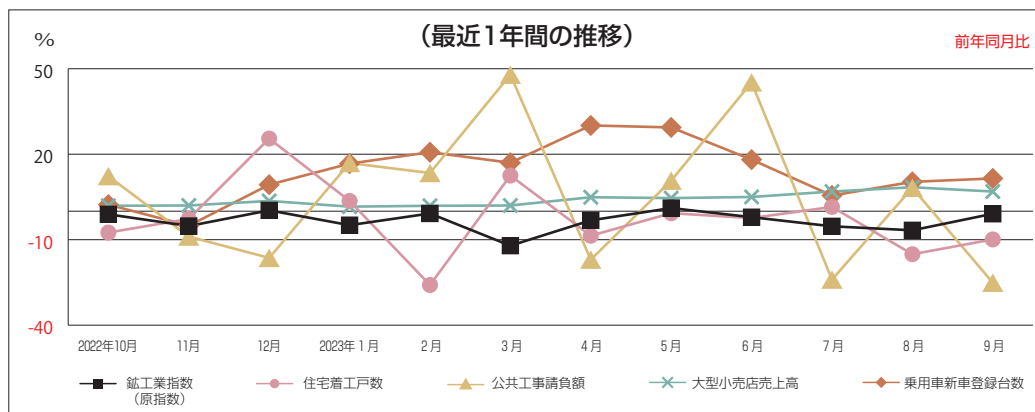
「総括判断」を4か月ぶりに引き上げた

個別の判断は「生産」について「弱めの動きとなっている」から「横ばい圏内の動きとなっている」に表現を修正した

(設備投資) 	増加している	(個人消費) 	緩やかに増加している
(住宅投資) 	弱含んでいる	(公共投資) 	横ばい圏内の動きとなっている
(生産) 	横ばい圏内の動きとなっている	(雇用・所得) 	持ち直している

...前回から上方修正 ...前回判断を据置 ...前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



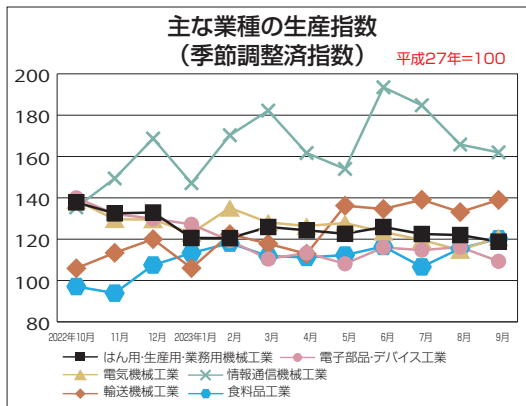
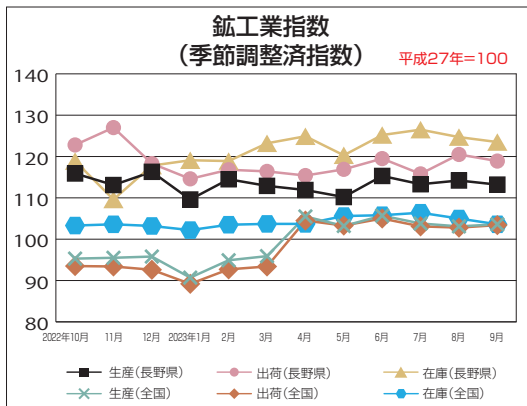
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数 (速報) 【9月】 平成27年(2015年) = 100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (前月確報)	113.2 (114.2)	▲0.9 (+1.0)	114.2 (104.7)	▲3.7 (▲6.7)
出荷 (前月確報)	118.9 (120.5)	▲1.3 (+4.2)	119.6 (112.4)	▲3.4 (▲5.5)
在庫 (前月確報)	123.5 (124.7)	▲1.0 (▲1.4)	118.1 (122.1)	+6.9 (+10.9)

- 前月比 (季節調整済指数) で、生産および出荷は2か月ぶりの低下、在庫は2か月連続の低下
- 前年同月比 (原指数) で、生産は4か月連続の低下、出荷は9か月連続の低下、在庫は7か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…食料品工業、電気機械工業、輸送機械工業ほか6業種
- 生産で低下した業種…電子部品・デバイス工業、汎用・生産用・業務用機械工業、情報通信機械工業ほか5業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

建設業

■新設住宅着工戸数【9月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		967	▲9.9
利用関係別	持家	492	▲5.0
	貸家	314	+2.3
	給与	52	+5100.0
	分譲	109	▲55.9

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は2か月連続で前年同月を下回った
- 利用関係別では、持家は2か月連続減少、貸家は4か月連続の増加、分譲は3か月連続の減少

■公共工事動向【10月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	15	1,728
独立行政法人	2	28
県	92	2,062
市町村	197	6,475
地方公社	2	195
その他	5	135
合計	313	10,622

(東日本建設業保証調べ)

- 10月の請負件数は前年同月▲11件、請負金額は▲25.1%であった。また、請負金額の発注者別では地方公社 (前年同月比+457.1%)、市町村 (同+44.6%) で前年同月を上回り、独立行政法人 (同▲75.2%)、国 (同▲63.6%)、県 (同▲54.5%)、その他 (同▲52.1%) で前年同月を下回った

小売業

■自動車登録台数【10月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	4,412	+11.5
軽自動車登録台数	4,081	▲0.5
全体 (二輪車を除く)	8,601	+4.6
自動車保有台数	1,896,433	+0.4

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は10か月連続で増加、軽自動車は3か月ぶりに減少、全体では14か月連続で増加
- 2023年10月末時点における自動車保有台数内訳…登録車949,386台 (前年同月比▲0.2%)、軽自動車908,792台 (同+1.1%)、二輪車38,255台 (同+2.4%)

■大型小売店売上高【9月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		21,738	+6.9
内訳	食料品	18,886	+8.4
	衣料品	871	▲5.7
	雑貨・その他	1,980	▲1.0

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は24か月連続で前年同月を上回った
- 食料品は、気温の高い日が続いたことで飲料や総菜などが好調だったほか、販売価格の上昇などもあり前年同月を上回った
- 衣料品は、秋物が低調で前年同月を下回り、雑貨・その他は、日用品などが振るわなかった

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【9月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.45倍	+0.01pt
全国	1.29倍	±0.00pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

■新規求人数【9月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	15,748人	▲5.9%

(長野労働局調べ)

■新規求職者数【9月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	6,447人	▲0.0%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.16ポイント上回り、全国順位は10位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人数(季節調整値)は46,428人で前月比+0.6%の増加、有効求職者数は31,999人で同+0.0%の増加

☞ 総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…情報通信業、運輸業・郵便業、医療・福祉

☞ 前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、卸売業・小売業など

☞ 全数のうち常用は3,946人(前年同月比▲0.3%)、パートは2,490人(同+0.5%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【10月】

	倒産件数	負債総額
	9件	931百万円
前月比	+28.5%	+48.2%
前年同月比	+50.0%	+155.0%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では中信が3件、北信、東信、南信がそれぞれ2件

☞ 業種別では金属製品製造業が2件、建設業、飲食料品製造業、汎・生産・業務用機械器具製造業、飲食料品卸売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食業、生活関連サービス業・娯楽業がそれぞれ1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は2件

編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取組み～

長野経済研究所創立40周年記念講演会(八十二銀行、長野銀行共催)のお知らせ 講演テーマ「ニュースから日本経済が見える」

講師：池上 彰 氏

日時：2024年1月19日(金) 14:00～15:30(開場13:00)

会場：ホクト文化ホール(長野市) 中ホール

または Zoomによるオンライン参加

※講演中の録音・撮影はご遠慮ください



定員

会場 600名

オンライン 100名

(申込先着順)

入場無料

プロフィール

1950年、長野県松本市生まれの東京育ち
1973年、NHKに記者として入局。松江、呉での勤務を経て、東京の報道局社会部。
事件、事故、災害、消費者問題、教育問題等を取材。
1989年～1994年、「首都圏ニュース」キャスター。
1994年～2005年、「週刊こどもニュース」キャスター。
2005年に独立、フリージャーナリストとして活動開始。
2012年4月～東京工業大学リベラルアーツセンター教授。
現在、信州大学特任教授、名城大学教授、東京工業大学特命教授、東京大学客員教授等6つの大学で教壇に立つ。

お申込み

長野経済研究所ホームページよりお申込みください。

(<http://www.neri.or.jp>)

*定員になり次第締切りとなります

こちらからも
お申込みいただけます



- お問合せ 一般財団法人 長野経済研究所 〒380-0936 長野市岡田町178-13 八十二別館内
TEL: 026-224-0502/0501 FAX: 026-224-6233 E-mail: kensem@neri.or.jp
共 催 一般財団法人長野経済研究所/株式会社八十二銀行/株式会社長野銀行